

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	小児聴覚障害Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 月1・2	教室名	603
担 当 教 員	青木弥穂	実務経験と その関連資格	難聴幼児施設で言語聴覚士として勤務経験			
《授業科目における学習内容》						
聴覚障害児のハビリテーションの評価及び指導方法について学習する。 関係機関と連携し、支援のあり方について解説する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験(70%) 課題(20%) グループ学習(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
聴覚障害学(医学書院) 言語聴覚士のための聴覚障害学(医歯薬出版)						
《授業外における学習方法》						
教科書を熟読すること、各回終了後、ノートをまとめる。授業終了後に示す課題を実施すること。						
《履修に当たっての留意点》						
小児聴覚障害Ⅰの内容を復習しておくこと。教科書を読んで講義に臨むこと。小児の発達過程について理解しておくこと。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児聴覚障害Ⅰの内容を復習しておくこと。教科書を読んで講義に臨むこと。小児の発達過程について理解しておくこと。	教科書・資料	(復習課題)小児聴覚障害Ⅰの内容を復習する	
		各コマにおける授業予定	小児聴覚障害Ⅰの復習、小児聴覚障害Ⅱの概要			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	対象に応じて聴覚検査の選択が分かり、検査、面談から聴覚評価ができる	教科書・資料	(予習課題)聴覚障害児の評価項目について教科書を読む	
		各コマにおける授業予定	聴覚障害の評価			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児で用いる言語検査の目的と結果の味方について説明できる	教科書・資料	(復習課題)各検査の概要をまとめる	
		各コマにおける授業予定	言語検査			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳幼児聴力検査の内容、手順について説明できる	教科書・資料	(復習課題)各検査の手法と結果の見方についてまとめる	
		各コマにおける授業予定	乳幼児聴力検査①			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳幼児聴力検査の結果から聴覚補償、コミュニケーション支援が分かる	教科書・資料	(復習課題)各検査の手法と結果の見方についてまとめる	
		各コマにおける授業予定	乳幼児聴力検査②			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害児支援にかかわる指導機関、指導形態、指導内容について説明できる	教科書・資料	(予習課題)聴覚障害児の療育機関について調べる。
		各コマにおける授業予定	指導機関、指導形態、指導方法		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳幼児期の言葉の課題を対象に合わせて考え、教材作成ができる	教科書・資料	(予習課題)聴覚障害乳幼児期のハビリテーションの内容について教科書を読む
		各コマにおける授業予定	乳幼児期の指導①		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳幼児期の課題を対象に合わせて考え、教材作成ができる	教科書・資料	(復習課題)聴覚障害乳幼児期のハビリテーションについてまとめる
		各コマにおける授業予定	乳幼児期の指導②		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳幼児期のコミュニケーション方法、表現方法について考え、教材作成ができる	教科書・資料	(復習課題)聴覚障害乳幼児期のハビリテーションについてまとめる
		各コマにおける授業予定	乳幼児期の指導③		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	対象児とその保護者、関連職種との連携について考えることができる	教科書・資料	(復習課題)難聴を含む重複障害児の症候群名、症状を理解し、評価と指導についてまとめる
		各コマにおける授業予定	重複障害児の評価と指導		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の障害認識、障害の捉え方、情報保障について説明できる	教科書・資料	(復習課題)聴覚障害児の障害認識、情報保障についてまとめる
		各コマにおける授業予定	障害認識、情報保障		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	個別支援計画の流れを理解する	教科書・資料	(復習課題)個別支援計画の概要についてまとめる
		各コマにおける授業予定	個別支援計画作成①		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	個別支援計画を作成し、訓練効果についても考えることができる	教科書・資料	(復習課題)個別支援計画の概要についてまとめる
		各コマにおける授業予定	個別支援計画作成②		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	症例を通して、対象児の捉え方について学び、訓練経過、コミュニケーション支援について考えることができる	教科書・資料	(復習課題)聴覚障害児の評価・ハビリテーション・保護者支援についてまとめる
		各コマにおける授業予定	症例検討		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	I IIを通して学んだことをまとめ、発表することができる	教科書・資料	(復習課題)小児聴覚障害Ⅱの内容について復習する
		各コマにおける授業予定	総括		